

激震の爪痕

地震発生



益城町 (2016. 4. 23)

前例の無い地震は、各地に甚大な被害をもたらした

2回の震度7とその後の地震活動により、震源地に近い熊本市、益城町、西原村、南阿蘇村を中心に各地で甚大な被害が発生した。

住宅の被害は13万棟以上、最大時には20万人以上の方々が避難(所)生活を強いられることとなった。

被災状況

死者・負傷者

死者 49名 重傷者 345名 軽傷者 1,318名 (人的被害は4月14日からの累計)

※このほか、震災後における災害による負傷の悪化又は身体的負担による疾病により死亡したと思われる死者数(正式には市町村に設置される審査会を経て決定)20人(熊本県)

※このほか、程度分類未確定な負傷者が140人(熊本県)

(出典：内閣府公表資料 (H28. 6. 7 16:30現在))

建物被害 (住宅被害) (非住家被害) (火災)

全壊 7,151棟 半壊 21,181棟 一部損壊 102,031棟
公共建物 243棟 その他 1,014棟
16件

(出典：内閣府公表資料 (H28. 6. 7 16:30現在))

避難所の状況 (最大時)

○熊本県855箇所 (4/17 09:30)※2 183,882名(4/17 09:30)※2
○大分県181箇所 (4/17 05:00)※1 16,268名(-)※2
○福岡県249箇所 (4/16 05:30)※1 1,924名(4/16 07:00)※2
○宮崎県 29箇所 (4/17 05:00)※1 531名(4/16 21:00)※2
○長崎県 21箇所 (4/17 21:00)※1 1,711名(4/17 03:00)※2

(出典：※1内閣府公表資料 ※2各県公表資料 を基に九州地方整備局で抽出)